

第13回 緑の市民委員会

会議録

1. 日時 平成21年10月2日(金) 9:30~12:00
2. 場所 市役所401, 402会議室
3. 出席者
(委員) 久委員長、下村副委員長、日高副委員長、磯貝委員、稲葉委員、稲森委員、大鋸委員
川井委員、川名委員、倉地委員、林原委員、藤原委員、村田委員、井上委員、庄司委員
(事務局) 佐和都市整備部長、森本都市整備部次長、高橋みどり推進課長、川邊花のまちづくり
センター所長、中川みどり推進課長補佐、西本みどり推進課長補佐、西川花のまちづくり
センター係長、巽みどり推進課緑化推進係長、福山みどり推進課主査、坂東みどり推進課主任

4. 議事内容

(1) 開会

(2) 案件

- (1) 緑の保全に関する事業(保護樹木・保護樹林制度)について(報告)
- (2) 「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について(審査)
- (3) 提案事項
- (4) その他

(3) 閉会

【事務局】 開会

佐和部長挨拶

【久委員長】 おはようございます。委員の議題は花と緑の景観まちづくりコンテストの審査です。先日は、現地審査を行っていただいた委員の皆様お疲れ様です。その現地の様子も踏まえて審査いただこうと思います。

コンテストの審査の前に、保護樹林・保護樹木の制度についてご報告をお願いいたします。

【事務局】 保護樹林・保護樹木報告

【久委員長】 財政が厳しくなってくる中で、一つ一つの補助金のあり方について見直して財政当局が厳しくなってきました。緑側としては、つけて差し上げたいのですが、少し待てということで調整に時間がかかっているようです。これは市の内部の問題ですので、私たちとしては、できるだけつけていただきたいという方向でいきたいが、事情が事情ですので仕方がないです。引き続き頑張っていたきたいと思います。

それでは、景観まちづくりコンテストの審査の方につります。

【事務局】 コンテストの審査内容の説明

【久委員長】 現地審査へ行ったところは、コミュニティ部門1・2・5・7・9・10、22、25、30。学校部門3・4・12・17・26・28。事業所部門20・24・32。住宅部門6・18・23・29・33・36です。

経緯を申し上げますと、事務局のほうで全ての箇所を回っていただいて、賞の可能性があるとところを絞っていただき委員で見に行ったということです。せっかく応募しておられますので、見に行っていないところも審査していただくこととします。見に行った審査委員だけでなく、委員全体で審査していただきたいので、現地審査へ行っていただいた委員の方々は、写真を含め補足をお願いしたいと思います。

現地審査へ行った者の一人として全体の感想を申し上げたいと思いますが、暑い日でしたので花には厳しい時期でした。しかし、いい季節だけでなく一年を通してどう管理されているかを見た方がいいのではという意見がありましたので、そのあたりも意見交換させてもらいながら進めていきたいと思います。現地審査は非常に重要な情報ではありますが、これだけで決めてしまうと、委員の中で情報の格差が出来ますし、1年のうち、たまたま1日の状態が良かった、悪かったということもできてきます。

それでは、審査に入って行きたいと思います。何かご意見ありますか。

【藤原委員】 たくさんありますので、去年は、一人5点ずつ投票していただいたと思います。第1段階で何点かに絞ってやるというやり方はどうか。一回で決めてしまうのは無理ではないか。まずは5点というように絞ってから2段階3段階に分けて決めていく方が良いのでは。

【久委員長】 事務局の方にも確認したいのですが、最優秀賞は1点で、それぞれ部門ごとの賞ということですね。

【事務局】 最優秀賞と優秀賞、それぞれ部門ごとに景観賞、まちづくり賞です。

【久委員長】 何故確認させていただいたかという、藤原委員のおっしゃっているのは部門を越えて最優秀賞、優秀賞を決定しなければならないので、まずは全体の中から5点というふうにしてはどうかということです。去年と同じやり方の方が、今年新しい委員さんは居られますが、継続の委員さん、事務局の方は慣れていらっしゃると思います。

では、まず5点ほどに絞っていただいて票の偏りなども見ながら最終的に決定したいと思います。もう一つお諮りしておかないとならないのは、現地審査に行っていた方が現地の情報を持っていただいています。そのあたりをどう共有していただくかです。スライドはすべて映る様になっていますか。

【事務局】 はい、全て用意してあります。

【久委員長】 私の方から提案なのですが、一つ一つつぶしていただいて、現地を見ていただいた方に全員でなくてもいいので、スライドを見ながら視察をしていただいたときのお話しをしていただいたらいいと思います。

少し時間がかかりますが、この前は時間が無くて、事務局としての感想を聞く時間が無かったのですが、それが意味公平なのですが、委員が現地を見ていないところも事務局は見ているので、その場所のコメントをいただく方がいいのか、それとも事務局は口を出すべきではないのか。いかがでしょうか。

【磯貝委員】 これには36点全て入っているのでしょうか。では、説明いただいて・・・

【久委員長】 よろしいでしょうか。審査をするときにそれを勘案するのは私たちの問題ですので、我々審査員がしっかり聞けば、公正さを保てると思います。

【稲葉委員】 映していただくのは、いつの季節に撮られたものですか？

【事務局】 先日現地審査を行った日の前後です。

【稲葉委員】 8番のバラはどうでしたか。

【事務局】 9月に確認させていただいたときには、咲いていませんでした。

【久委員長】 咲いている時期に撮られたのと秋と両方映るのですか。

【事務局】 はい、両方映ります。

【久委員長】 先日現地審査の折に一部の委員さんとお話したのですが、1年を通して審査する方法もありますし、オリンピックみたいに、たまたまその日に調子が悪かったから賞を逃したということもあります。

まず、目標は今から映していただいて、コメントをいただき5点を選ぶということをお願いします。

【事務局】 (応募されているグループの説明)

【久委員長】 現地審査へ行かれた方は、コメントを適宜お願いします。

【事務局】 1番から、これが事業報告、遠景、近景写真です。

【稲葉委員】 現地審査当日はペゴニアが傷んでいました。ここだけが痛んでいるのではなくて、今年は雨が少なかったのでもこもなのですが。

【大鋸委員】 久委員長がおっしゃったように、季節が(花にとっては)最悪なので、(見に行った日から)1週間後には家の花もとてもきれいになっていましたので、一番苦労する時期に見に行った状態です。もう少し後だったらと思いました。

【藤原委員】 黄色いチューリップの後は何か植えられていたのですか。

【稲葉委員】 別段なにも、ペゴニアがあっただけです。

【事務局】 2番目です。

【稲葉委員】 これも同じようにペゴニアは傷んでいましたが、この場所はとてもいい場所で、まちづくりとしてはとても効果的な場所だと思っています。春はいつもきれいに咲いているので楽しませてもらっています。素敵な花壇だと思います。

【大鋸委員】 よく手入れされています。

【久委員長】 コミュニティ部門は、次は5番です。
これはコメントいいですか。

【稲葉委員】 花壇のデザインに少し工夫が必要なのと、花壇の後ろに大きなゴミ箱があって、それが目立っています。それがマイナス点かなと思います。

【久委員長】 次は7番です。

- 【大鋸委員】 公園に対してお花の面積が小さすぎるという印象を受けます。
- 【久委員長】 次にいきましょうか。
- 【村田委員】 始めて参加させてもらったのですが、9番はトップクラスです。
- 【久委員長】 押しの一言ですね。次にいきましょうか。
- 【大鋸委員】 今朝もここを見てきたのですが、きれいにされています。よく人目につくところですよ。お世話されている方のトップの方が他の自治会から来られているので、地元の自治会でも大変なのによくされているなと思います。
- 【久委員長】 次の13番は委員が拝見していませんので、事務局からコメントがありましたらお願いします。あるいは、ご近所でもよくご存知の方が居られましたらお願いします。
- 【事務局】 では事務局から、ペゴニアとサルビアなどが頑張っただけ咲いていました。コミュニティ部門の数が多いので、残念ながら外れたということになりました。花としてはペチュニア、ペゴニアが咲いていましたが、時期的なものもあってお疲れモードでした。
- 【久委員長】 それでは15番。これは現地へ行っておりませんのでよろしくをお願いします。
- 【事務局】 こちらは、住宅地の外周道路です。ガードレールがすぐ側にありますので位置的なことありせつかくの花が隠れてしまっている。
- 【久委員長】 次は21番
- 【事務局】 こちらは休耕田を活用された花畑。あるいはレンゲ畑です。こちらコミュニティ部門の参加が多く外れてしまったのですが、行ったときにはコスモスやヒャクニチソウなどに変わっていました。コスモスは、若干植栽が乱れていたような状態でした。
- 【久委員長】 続きまして、22番です。こちらは行かせていただきました。
- 【大鋸委員】 ポーチュラカがすごくきれいだったというのが印象的だったのですが、こちらの関係の方に肥料をどうしてらっしゃるのかをお聞きしたいくらいです。
- 【稲葉委員】 ただ、100人も参加されているようには思えなかったのです。ポーチュラカが確かにきれいでした。市内でも気温が低いのかなと思うくらい花の色が鮮やかでした。花壇のデザインとしてはもう少しでした。
- 【久委員長】 それでは25番に移りたいと思います。
- 【稲葉委員】 この場所は以前と比べてデザイン面を工夫されていないところもありますが、場所的にはとても効果的な花壇だと思います。
- 【大鋸委員】 人目によくつくところですよ。車で通りかかってもすごく目立ちます。前の方がすごく一生懸命されていたので、後を受けた方が大変だと思います。でも、よくやっていたらと思います。なんらかの形で表彰してあげたら励みになるのではと思います。公共性のある場所です。
- 【久委員長】 では、27番をお願いします。
- 【事務局】 こちらは行っておりませんので。休耕田を利用してコスモス畑を作っておられます。少し元気

がないなという状況でした。

【久委員長】 続いて 30 番

【村田委員】 こちらは、非常に花数が少ない。そういう意味で工夫も難しいと思います。私の考えでは見送りたいと考えます。

【久委員長】 この写真のとおりでした。
コミュニティ部門の最後 35 番です。これも行っていませんので。

【事務局】 花は、ベゴニア、トレニア、ピンカなどが植わっていますが、ポリウムに欠けるところがありました。写真では春の花が植わっています。

【久委員長】 ご質問でもかまいませんのでどうぞ。行っていらっしゃらない方は、よろしいですか。では、番号としては若返って学校部門の 3 番。ここは行かせていただきました。

【稲葉委員】 今年は学校部門、どの学校も低調だったなと思います。この学校は、お花は痛んでいましたが取り組みは評価できるかなという花壇でした。

【磯貝委員】 学校というのはなんとか委員という方々が活動されているのでしょうか。参加人数が意外と少ないのですね。
9 人というのはどういうことでしょうか。生徒さんがやっているのではないのでしょうか。

【稲葉委員】 父兄がされていたり、先生がされていたりいろいろですね。

【久委員長】 周りに植えていたという名残はありましたが、そのあたり確認できませんでした。

【稲葉委員】 皇帝ダリアとか、新しい種類の花を植えていらっしゃるのが評価できると思います。

【久委員長】 よろしいでしょうか。では、4 番。

【村田委員】 ここの学校はいつももっときれいなのですが、人数が少ないので見劣りしています。

【久委員長】 では、12 番

【稲葉委員】 この幼稚園は園長先生が熱心にされているところですが、当日はお花が痛んでいました。

【久委員長】 では、16 番

【事務局】 16 番ですが、ここは現地審査を予定しておりましたが、日没、時間切れということで行けませんでした。花は、若干元気が無かったという状態です。

【下村副委員長】 学校は校庭内に植えられていて見えないことが多いのですが、ここは外側に向けて植えられていますね。

【事務局】 こちらは、ちょうど門の前に飾られています。幼稚園なのですが、手前がグラウンドで奥が園舎なので、その通路に花飾りをされているということです。

【久委員長】 それでは次へ行きます。17 番ですね。ここも行かせていただきました。

【稲葉委員】 学校でありながら、植えていらっしゃるのはご近所の方という花壇です。とても効果的な花壇

なので、これからデザインを工夫されれば、とても期待できる花壇になると思います。
お花は元気でした。少し控えめな感じです。

【久委員長】 よろしいですか。次は、19番。

【事務局】 こちらは小学校ですが、長い夏休みのために花が消えてしまっていました。右の写真はアジサイがきれいですが、9月時点では花は無い状態でした。

【久委員長】 続きまして、26番です。こちらも行かせていただきましたので。

【稲葉委員】 昨年がきれいだったので、昨年に比べれば、少し見劣りした感じです。

【村田委員】 プランターを並べているだけで工夫が足りない。

【磯貝委員】 これは聞いた話ですが、今年校長先生が自分で進んでされている。

【日高副委員長】 教頭がかわったので、校長が自らされている。
人事異動があったことが花を見ていて分かることもある。

【久委員長】 学校や企業は人が変わっても継続できるかというのが大事ですね。
それでは次28番。

【稲葉委員】 去年と比べるとお花が少なかったような気がします。学校部門としては比較的良かったと思います。

【磯貝委員】 行った時期が悪かったのか。

【大鋸委員】 去年はもう少し後だったような。

【事務局】 9月25日です。

【大鋸委員】 その頃だともう少しましになっているかもしれません。お花にとっては非常に過酷な時期でした。個人宅にも。ましてや学校は長期休暇のすぐ後で大変な時期です。

【久委員長】 来年度への反省点ということで。

【大鋸委員】 9月ってとっても（気温の）振りが大きい。そういうときの20日間という・・・。

【林原委員】 新型インフルエンザの影響もあるかもしれませんよね。活動しにくい時期だったのかも。

【大鋸委員】 お花どころではないというような。

【久委員長】 続きまして、事業所部門。番号戻りまして、11番。

【事務局】 駅前のバス乗り場で活動されています。プランターが10基ほど並んでいたのですが、9月には半減していました。若干さびしい感じでした。

【久委員長】 続きまして、20番です。

【稲葉委員】 20番は写真のようにきれいではなかったです。場所的にも悪かったです。車でも見難いし立ち止まってみるところでも無かったです。

【下村副委員長】 川を挟んで向こう側ですね。頑張っておられるのですが、周りが見苦しいですね。

【磯貝委員】 工業団地ですからね。

【下村副委員長】 惜しいなと思うんですけど。

【大鋸委員】 6人で頑張っているということですが。かなり頑張っているらっしゃるのでしょうか。場所的には見逃してしまうところですよ。

【久委員長】 24番です。

【稲葉委員】 ここは、何年も取り組まれている。年々良くなってきている。ちょっと日陰になるところを上手に利用されている。

【久委員長】 よろしいでしょうか。35番です。いかがでしょうか。

【委員一同】

【久委員長】 それでは、コメントをいただけないというのもコメントだと思います。それでは、最後の部門、住宅部門です。

【稲葉委員】 とても自然に咲いている花壇です。これは珍しく使い捨ての花壇でははく、育てる花壇で評価できると思います。まわりの環境にあった花壇です。多年草や宿根草が植わっています。

【大鋸委員】 おうちの感じとマッチしている。

【下村副委員長】 派手ではないのですが。

【磯貝委員】 今は何が咲いていたのですか。

【稲葉委員】 萩が咲いていました。

【下村副委員長】 今回の表彰が花とみどりの景観まちづくりコンテストですので、風景の中できれいにされているところを表彰するのもいいですし、毎年この風景が見られるというのもいいですね。

【林原委員】 ここは竜田川沿いにありまして、見せる花壇というか、ほっとする何かがありますね。ときどきウォーキングで歩くのですが。

【久委員長】 次に、8番です。

【事務局】 冒頭にもございましたが、バラの花はございませんでした。ハンギング等も疲れ気味でした。

【稲葉委員】 季節は春に限定されるのですが、景観まちづくりという点では評価できると思いますが、どう思われますか。

【久委員長】 どういう観点でものを見るかですね。ずっと花が咲き続けているというのもいいですが、名所というのは、花の咲く時期が決まっている場合も多いです。ただ、花の無い時期に見苦しくなってしまうらいいないと思います。

- 【下村副委員長】 委員の判断でいいのではと思います。年中美しいところだけ全員で評価しましょうというのではなくて。サクラがそうですね、一時期だけで。あとは毛虫が出る。
- 【大鋸委員】 春に一度拝見したいなと思うくらいです。写真の感じからすると。春が一番きれいなのですね。
- 【日高副委員長】 きれいなときに来てもらいたいでしょうね。
- 【庄司委員】 植える場所は施設を作る側の場所が無いのに工夫して飾っている。人工物と自然のものが上手く融合しているところが評価できる。
- 【久委員長】 これだけの人間が集まっているので、いろいろな採点があってもよい。議論の中で調整をしていきたい。
- 【村田委員】 初めてですので、写真の印象でつけました。持続性とかは分かりにくい。工夫を練る点とかは点数の取り方が分かりにくい。工夫のしかたもありますが、10点満点でつけました。
- 【久委員長】 後数点ですので、最後まで。
18番は、行かせて貰いましたのでご感想ございましたら。
- 【倉地委員】 コメントに「目指せ最優秀賞！」と書かれているその迫力に押されてしまって。こういう意気込みがないと挑戦できないなと思います。
- 【下村委員】 写真が上手いなと思います。4月から7月のうちに少なくとも2回植え替えているということを強調されている。こういうのが上手いなと思います。議論が必要かと思いますが、募集要項などでも4月ばかりの写真を貼るのではなくて、違う時期の花の写真もあると効果的ではないか。
- 【林原委員】 近所の方も手伝っておられるのですか。
- 【大鋸委員】 お一人でされています。お勤めされている。こちらに引っ越して来られて3年目だとおっしゃっていました。
- 【林原委員】 一体感がありましたね。
- 【大鋸委員】 現地へ行ったときは違いましたけれど。
3年で、お一人で、お勤めしながらというのを考えますと。
- 【林原委員】 写真でいうと、花と緑がマッチングしていると感じを受けました。
- 【稲葉委員】 この方は、去年も写真復活されました。やはり、写真はすごくきれいに撮れています。春に伺えば、このようにきれいなのですね。
- 【大鋸委員】 現地へ伺う少し(1ヶ月ぐらい)前に行きましたが、もっときれいでした。
- 【稲葉委員】 場所的に人の目に触れにくいところです。
- 【大鋸委員】 こんなに奥にあるのはもったいない。
- 【庄司委員】 私がこのお宅で感動したのは、さきほど緑と花がマッチングしているという話がありましたが、それをすごく感じます。建物の壁、もっと奥の敷地の境界線まで緑で、普通の塀が無いのです。全体が見えるところだけではなく、一番欠点になる門とか地植えの場所がないところをカバーするようにされている総合性がすごいと思います。

【久委員長】 23番

【稲葉委員】 市役所近くのお宅で、この中ではトップレベルです。10年以上続けていらして、色彩面もいつも素敵にされている。使い捨てではなく、ここも育てる花壇です。

【大鋸委員】 市役所に行くときは必ず寄って見せてもらう。色彩も全体のデザインも素敵です。頑張っているんじゃないかと思います。

【稲葉委員】 とても珍しいものを植えておられます。

【下村副委員長】 たくさん植えておられるので、もう少し高木があればもっといいかと思います。

【稲葉委員】 建物の横に花壇を作られたときに、背の高くなる樹を植えられたのですが、まだ2年ぐらいなので、あまり大きくなっていないんですね。

【藤原委員】 ここも一人でやってらっしゃるのですか。

【大鋸委員】 そうです。

【林原委員】 地元びいきではないのですが、いつも頑張っておられるなあと思います。

【大鋸委員】 ベランダで種から育てておられて、生駒で私が知っている花壇の中では本当にトップクラスです。

【久委員長】 応援演説が続きますが、続きまして、29番です。

【久委員長】 よろしいですか。31番です。こちらは行っておりませんのでお願いします。

【事務局】 玄関周りに枕木等を配置されて、花は9月に行ったときには少なくて疲れた様子でした。

【久委員長】 続きまして、33番です。

【大鋸委員】 家のすぐ近くで花仲間なのですが、ペチュニアを頑張ってやっておられました。行かせて貰ったときピンクのペチュニアが大変きれいでした。

【久委員長】 続きまして、34番です。

【事務局】 トレニアのハンギングのポットを掲げられています。確認させてもらったときには、花数が少ない状態でした。

【久委員長】 最後になります。

【大鋸委員】 先ほどと同じように花仲間です。頑張っておられます。

【村田委員】 非常にたくさんのお花なので統一感があります。

【大鋸委員】 本人も言っておられるのですが、同じ花ばかりというのが悩み。私もそうですが、種をまいて育てているのでなかなか他の花に行きにくいです。

【久委員長】 採点表を提出していただいてから、休憩をはさんで審査ということにしましょう。

- 【事務局】 現地審査へ行っていただいて、本日欠席の高柳委員からのコメントをお伝えします。
コミュニティ部門は9番、アプローチから傾斜地を巧に生かして入り口から中へ誘うようなフラワーポットの並べ方で多くの人に見てもらいたい見事な構成です。
住宅部門では33番。平面的になりがちな花を立体的にレイアウトし、訪れる人を自然と一段高くなっている玄関へと誘導している。落ち着いた中にも住む人のセンスを感じさせている。
学校部門は4番で、校門脇のハンギングをペットボトルの再利用で飾り、手づくりの温かみを感じ好感がもてました。
事業所部門は24番です。出口の見えない不況の中で、コンテストに参加した企業の心意気に敬意を表したい。ずっと花と緑を大切にしてきたという24番が良いと思います。

- 【久委員長】 部門関係なく、順位等のところに丸を5つ打っていただいて、提出後休憩をはさんで11時15分再開ということをお願いします。

休憩

- 【久委員長】 時間になりましたので再開させていただきます。1回目の集計が出ました。

- 【事務局】 集計発表させていただきます。コミュニティ部門、2番が6票、9番13票、10番が2票、21番1票、25番5票。
学校部門、3番4票、16番1票、17番1票、28番1票。
事業所部門24番、10票、32番2票。
住宅部門6番9票、8番3票、18番4票、23番9票、33番2票、36番2票。以上でございます。

- 【久委員長】 ありがとうございます。ということで、最優秀賞から決めて行きたいと思います。
得票でいきますと9番が一番なのですが、昨年度もこちらが最優秀賞なのです。それをどう考えるかというのも図らせていただきたい。ずっと頑張っていたらしゃるのだから、ずっと最優秀でもいいのではというお考えもあるでしょうし、また、違う方に最優秀をとという考えもあります。

- 【日高副委員長】 丸をいくつか付けていただいたと思いますので、1から5位まで同じ丸です。5位の丸を13いただく場合もありますし、丸の数だけで審査するのではなく、みなさんからご意見いただくほうが良いと思います。

- 【久委員長】 いかがでしょう。

- 【稲森委員】 花とみどりの景観まちづくりということで、花のボリュームが少し分かりにくい。参加人員などは書類で分かるのですが、極端に言えば、さきほど西川係長がおっしゃったようにプランターを5つ並べただけというのは、写真だけでは判断できないのです。今後判断材料として、例えばプランターが5個なのか20個なのか、ボリュームの表現を工夫していただきたい。現地に行っていない者でも、どのくらいの量をお世話して景観まちづくりに寄与しているのかを、評価の一つのポイントにさせていただけたらと思う。

- 【久委員長】 私と下村副委員長は、建物が景観に合うかどうかのアドバイスや審査をさせていただくことが多いのですが、そのときにビデオ撮影をさせていただいています。写真よりビデオの方が全体の雰囲気分かるのです。事務局にはお手間ですが、数を数えるよりもビデオでさーっと撮影して映写していただいた方が、簡単にボリュームを把握できます。そのあたりも参考にさせていただければと思います。

- 【倉地委員】 13票取られていると言うのは、やはり、去年今年と引き続いて努力されている結果だと思います。2回、3回でも優秀なものは表彰してあげたいと思います。この写真、現場を見られた方

はお分かりだと思いますが、人数も多く、皆で頑張っておられますので、私は2年連続でも最優秀賞を差し上げて欲しいと思います。

【久委員長】 先ほどの日高副委員長のお話で言うと、次の24番が10票、6番23番が9票と僅差なのです。そのあたりで、「9番よりも24番がいいよ」というようなご意見を出していただいたらと思います。

【藤原委員】 この上位4つがかなり僅差なので、最優秀賞は1つですね。優秀賞は3つではいけないか。一つでないといけないのでしょうか。

【事務局】 いえいえ、去年は確か優秀賞は2つだったと思います。皆さんのご意見で決めていただければ。

【藤原委員】 3つは多いですか。

【久委員長】 今、この4つが最優秀賞、優秀賞の候補が上がってくると思います。そのなかで、議論をして甲乙つけがたいというのであれば2つ・・・と議論の中で決めていけばいいと思います。まず、最優秀なのですが、先ほど倉地委員の方から、抜きん出ているし、また今年も努力されているのだから継続で差し上げてもいいのではというご意見でした。オリンピックでも金メダルを取り続けている人はいて、その方目指してみんな頑張るというのもあります。

【倉地委員】 個人で(花壇を)作られるのと、団体で地域で頑張られているのはまったく違うと思います。意気込みとかが。団体で管理されているというのは、実際私も地域でやっていて(ここまでされているのは)頭が下がります。個人は自分の趣味で、お金もかけて出来るが、団体の場合はかなり制約された中でされていると思います。

【庄司委員】 6番を推薦したいと思います。自然の雰囲気でもよい。今までの花とか緑という概念で、市民に対してこんな考え方もあるのですよ、というのを示唆する姿勢を見せる必要性を感じています。

【久委員長】 わかりました。そういうご意見もございます。

【川名委員】 その場合に、この植木の場所が公共のものなのか、個人のものなのかを斟酌しないとイケないのか。

【久委員長】 それは、違法なものには賞は差し上げられないので、何の届出もなく公共の場所に勝手に植えていたということが判明すれば資格が無いということになります。賞の選考後事務局が調査していただくということ。

【磯貝委員】 公共の場というと、家の前の道路は公共の場？

【久委員長】 今のお話し、具体的には6番のことだと思います。官民境界の民のところとちゃんとやってらっしゃるのかどうかということです。

【稲葉委員】 灯籠を置いてらっしゃることを思えば、前庭だと思います。

【林原委員】 境界線はブロックだと思います。

【磯貝委員】 (プランターを)道路の路肩に並べていることもありますね。あそこはどうなのでしょう。

【久委員長】 そのあたり目をつぶっているところもあると思います。実際にはクレームつくことがあるかもしれせん。

【下村副委員長】 賞の重複受賞ですが、認めてあげた方がいいと思います。毎年やっているけどだんだん減っていきますよね。5年10年続けば、応募者が減るのではと思います。毎回頑張ってもらおうという意味では、重複していいのではないかと思います。せっかく出して、今回良くなったつもりだったのに貰えなかったとなると……。それなら、最初から賞を受賞された方は同一の賞には選ばれませんというのを書いておかないと誤解を招くと思います。重複受賞はありだと思います。

2点目に、街路樹が植わっている植栽部分などに花を植えられていることがあります。花を植えられていたりプランターを置いたりされていますが、街路樹は公が植えているのです。立派な樹があって、その下で景色として整っているの、全体の風景を評価してもいいのではないかなと思う。

【稲森委員】 私も2連覇3連覇、ありだと思います。委員さんの票13票も集めたというのは、すごいことです。

【久委員長】 もう一つの観点ですが、大阪まちなみ賞というのがあります。そこは、一回受賞すると取れないのですが、年によって素晴らしい作品が出てくる場合やどんぐりの背比べという年があり、最優秀賞を受賞できるかどうか都市によって変わってきます。たまたま、どんぐりの背比べのときにいい作品が出てきたら最優秀賞ということになるし、もっといい作品があったら優秀、奨励賞でとまってしまいます。どのタイミングで受賞するかで、幸、不幸がでてきます。今年度最優秀を逃したけれど、また来年最優秀を狙うということもあります。

大勢の意見は重複受賞ありということですね。

【川名委員】 去年今年と見て、13票集めているということは抜群なのです。2回になっても、3回になってもいいのではないかな。

【久委員長】 大勢の意見はそうですね。先ほど三連覇ということをおっしゃられましたが、野球でも三連覇とか強いところがずーっと優勝ということがあります。そこを倒そうと頑張る方も出てくるので、いいではありませんか。

それでは昨年に引き続き、9番を最優秀賞としたいと思います。

優秀賞ですが、先ほどお話しいただきましたように、何点にするかということも含めて考えて行きたいと思うのです。賞に残りそうなのは10票、9票の6番、23番、24番、あとちょっと、ここがいいよというところが出てくれば、そこも含めて決めて行きたいと思います。

あと、部門ごとの賞がございますので、ここにあまりたくさん入れると各部門の賞がなくなることもございます。次のステップとしては、考慮しながら進めて行きたいと思います。

【稲森委員】 その枠はもう決まっているのですか。優秀賞の数は。

【事務局】 あんまり増やしすぎると、賞の重みが無くなるということになります。

【稲森委員】 1つということですね。

【事務局】 できたら数は少ないほうが重みはあると思いますが、確か昨年度は2つありました。

【事務局】 2つあったのは、確か甲乙つけがたい内容であったからだと思います。

【久委員長】 優秀賞の選考が終わりますと、各部門に景観賞まちづくり賞というのがございまして、全部で都合8つ選ばないといけないのです。全部で10個選ぶことになります。優秀賞に全部あげてしまいますと、後で困ることになります。

【事務局】 去年も二つあげていた経緯がありますので、委員の方々にどうしても甲乙つけがたいということであれば、優秀賞二つということもあります。

- 【久委員長】 例えば、6番、23番、24番、この3つのなかで、もう一度票を入れていただくという手もあります。それは、最後の最後の手段で、話し合いのなかで決めて行きたいと思います。
- 【大鋸委員】 住宅部門の6番なのですが、きれいなのですが手がかかっているかという、そうかかっているように思います。同じ票で23番があるのですが、人の目に触れるという重要性和、手がかかっているか、センスの問題で言うと、正直同じ票であるというのが疑問なのですが。個人の意見ですが。
- 【久委員長】 日高副委員長がおっしゃったように、5番目の票が集まっているのか、1番目の票が集まっているのかの温度差であると思います。応援演説でこれは！というのがあればしばらく議論しては、
- 【庄司委員】 むしろ、このあとで部門賞というのが選考されるのが・・・。
- 【久委員長】 各部門で、景観賞とまちづくり賞が選考されます。景観賞というのは、主にデザインなどがまわりの景観になじんでいるかどうかということです。まちづくり賞というのは、どれだけ手を入れて頑張っているかということなんです。
- 【庄司委員】 見方によっては、優秀賞に選ばれるというより目的がはっきりしているのに選んでいただいた方がいいと考えられる。こんな持って行きかた、配置の仕方があるのかもかもしれませんね。
- 【久委員長】 どうでしょうか、何か推薦の弁ありますか。
- 【稲葉委員】 6番は、優秀賞というより景観賞がふさわしいのではないかと思います。
- 【庄司委員】 そう思えてきましたね。
- 【大鋸委員】 家と花壇との感じから言えば、そうですね。
- 【久委員長】 逆に、稲葉委員はどれが優秀賞に近いと思いますか。
- 【稲葉委員】 私は、23番がいいと思います。ただ、ここは審査員の年齢が高いかなと思われまので、難しいですね。6番が人気があるのもそういう点で人気があるのかもかもしれませんし。
- 【藤原委員】 私も一緒に、23番を選びたいと思います。24番は審査基準というのが地域での取り組みとか広がりという面でいいのですが、この部門エントリーが少ないのですね。ここで、24番を抜いてしまったら賞がなくなるような気がして。
- 【磯貝委員】 賞は多ければ多いほどいいと思います。というのは、プランター1個でも努力してやられているところもあるし、20個30個となるとさらに苦労してされている。特に、学校部門などは、子どもの手が入っているところは何でもいいから賞をあげたいと思います。昨年も言いましたが、子どもたちにはたくさん賞を増やして褒めてあげたいと思います。
- 【事務局】 部門賞はそうですね。
- 【久委員長】 話を元に戻しまして、優秀賞の話をしていただきます。先ほどのコメントの中でも23番の方の工夫とかずっと努力をされている点とか、立地上メリットがあるかと思いますが、市役所の近くであるという。
- 【川井委員】 私も23番に投票したのですが、理由はこの報告を見ると実生から作られておられるのですね。そういった丹精こめられたところを評価しているのです。苗から作るのと種から作るのでは、時間も手間も相当違うのではないかと思います。

- 【久委員長】 いろいろと応援演説はありますが、ダメだというご意見が無さそうなので、23番を優秀賞ということにさせていただいてよろしいですか。バランス的にはコミュニティ部門が最優秀賞で住宅部門が優秀賞なので部門的なバランスも取れていると思います。
- 次は、部門ごとの賞です。今、仮に景観賞、まちづくり賞ということになっていますが、さきほど磯貝委員の方からありましたが、別の賞というのが出せれば、ご提案をいただければと思います。
- 最低限、景観賞、まちづくり賞を決定していきたいと思います。コミュニティ部門で票が入っているのは先ほどの2番、10番、21番、25番です。見ていただけますか。
- 【稲葉委員】 応援演説をしたいと思います。2番のととても長い間の取り組みを評価してあげるべきだと思います。
- 【大鋸委員】 公共性とかを言えば、非常に頑張っていると思います。
- 【稲葉委員】 24番は場所的にプランターを置いていらっしゃるんですが、この2番は、クスかなんか大きな木がはびこっていて、その根が花壇の邪魔をして大変苦労しておられると聞いている。それも評価して上げられればと思います。
- 【久委員長】 応援演説ないですか。
- 【磯貝委員】 25番を応援したいと思います。知る人ぞ知るところで、前の方々はすごく頑張っておられた。今の方が引き継がれて2、3年だということです。非常に目立つ場所ですので、ここに賞を上げたいと思います。
- 【久委員長】 票の数としても、2番6票、25番5票ですので、この二つということでもよろしいですか。どちらが景観賞で、どちらがまちづくり賞がいいでしょうか。
- 【井上委員】 25番の応援をしたいのですが。されている方が代わられたとお聞きしましたが、毎日毎日、子どもさんも含めて散歩がてら少しずつ植えたり、水をやったりされています。中学生も一緒になってされているのを見えています。高校生たちがその花を見ながら話をしている場面を見ていて、コミュニティにとってもいい場所だと思っています。近隣の者としてお勧めしたい場所です。
- 【久委員長】 どちらにも賞を差し上げようということです。2つとも賞を差し上げるのですが、どちらに景観賞、まちづくり賞をお渡ししたらいいでしょうか。
- 【川名委員】 生駒を歩いていて、大きな道路と接していてあれだけ目立つ公園というのは珍しいです。ほのぼのとしたものがあり、模範的な公園であると思います。まちの景観とマッチした形で維持していただいているのは大変な努力であると思います。
- 【久委員長】 では、25番を景観賞、2番をまちづくり賞ということでもよろしいでしょうか。
- ありがとうございます。続きまして、学校部門です。今回は低調だということで、票も低調になっています。今回は該当なしということでも。磯貝委員は出来るだけ表彰してあげたいとおっしゃっていますが。
- 【稲森委員】 ぜひ、学校は入れてあげて欲しい。
- 【林原委員】 ひまわりは注目しているのですが。生駒でこんなにたくさんのひまわりを育てているのは、ここは小学校ですか、いいなあと思います。手はかからないかもしれませんが、意欲は買えるなと思います。

- 【大鋸委員】 学校のなかでは、一番いいかと思います。
- 【磯貝委員】 17番は、1票しかないですね。
- 【久委員長】 どうでしょうか。3番は何か賞を差し上げようということで、あと一つ、16、17、28の応援演説ございますか。
- 【井上委員】 16番は通りから見えるのがいいと思います。他に通りから見えるところがなくていいと思ったのです。
- 【久委員長】 16番応援演説いただきました。他には。
- 【稲葉委員】 外から見えるという点では、17番も良く見えます。
- 【磯貝委員】 16番を応援します。ここは幼稚園ですね。幼稚園っていいですね。
- 【倉地委員】 私も16番を応援します。
- 【稲森委員】 これ以外に努力賞というのがあったらいいですね。表彰状だけでもいいからあげてはいかがか。
- 【久委員長】 まずは二つ選びましょう。そして、残された二つをどうしましょうかというお話しにしましょう。
- 【藤原委員】 3番は決定ですね。票の数から言うと・・・
- 【林原委員】 学校部門は、児童なり生徒なりがどれだけ参加しているか参加の度合いも見たいものです。人数見ますとかなりばらつきあります。学校を上げて取り組んでいますとか。
- 【藤原委員】 17番は地元の人がやっておられる。学校じゃなしに。
- 【久委員長】 ここに上がっている、3番と16番ということでいいですか。
どちらを差し上げましょう。16番が頑張っているということでまちづくり賞。3番が景観賞でよろしいでしょうか。あとは、先ほどご意見がありましたように学校だから特別に賞を。17番は地元の人がやってらっしゃるんでしたね。では、28番。
- 【委員一同】 そうですね。
- 【久委員長】 何賞にしましょう。奨励賞？
- 【委員一同】 奨励賞、よいですね。
- 【久委員長】 続きまして、事業所部門。事業所は応募も少ないですが、2つお願いします。
- 【磯貝委員】 24番、32番。
- 【久委員長】 24番32番の二つに賞を差し上げるということでよろしいですか。
あと、どちらの賞かということですが。景観という意味では、24番ですね。24番が景観賞で、32番がまちづくり賞ということでよろしいでしょうか。
それでは、最後ですが住宅部門。6番は優秀賞候補になったくらいですから。もう一つはどこにしましょうか。

- 【稲葉委員】 18番のほうが33番よりも票が多いですが、はるかに33番のほうがお花がきれいだと思います。
- 【倉地委員】 ただ、さきほど久委員長がおっしゃったように、道路を占拠しているとかいう問題は・・・
- 【事務局】 写真で見ると、道路側溝が官民の境界ですので、33番は完全に民地側です。
- 【久委員長】 今、33番は応援演説が入りました。
- 【磯貝委員】 36番は溝の上ですね。
- 【藤原委員】 36番も同じ花で統一しているというのがいいですね。あまりないパターンなので、これも面白いかなと思います。
- 【久委員長】 33番、36番は応援演説が入りました。
- 【事務局】 36番は側溝の上にありますので、微妙なことを言うと官地へ入っています。側溝が個人のもشれませんので、写真だけでは判断できませんが。
- 【大鋸委員】 おっしゃるとおりで、溝の上です。
- 【藤原委員】 では、受賞は無理ですね。
- 【磯貝委員】 8番というのは候補に入っているのですか。白いバラ。
- 【久委員長】 とりあえず、応援演説していただいたらいいですよ。
- 【磯貝委員】 8番は見事です。
- 【稲葉委員】 8番はいいと思いますね。票が少なかったから。でも、見事です。
- 【川井委員】 上手くやれば、シンボルポイントになるんじゃないですか。
- 【大鋸委員】 色彩がいいです。
- 【稲葉委員】 素晴らしいですね。
- 【大鋸委員】 統一されていて、ぜひ、お花のきれいなときに見に行きたいです。バラを作りたい方には参考になりますね。白が好きだから。
- 【川井委員】 白庭台だから白一色で。
- 【稲葉委員】 白庭台は、白いお花の売れる町なのです。
- 【大鋸委員】 芦屋に続いて・・・お花屋さんが言っておられました。
- 【事務局】 白は、書いておりますとおり白庭台に来たから白い花をとわれております。
- 【川井委員】 町のシンボルカラーなのですね。
- 【久委員長】 今の雰囲気ですと、8番、突然人気が出てきました。

それでは、6番と8番ということによろしいですか。頑張りと言う意味では、8番が頑張っているんじゃないかと思います。では、6番景観賞、8番まちづくり賞ということによろしいでしょうか。

あとどうでしょうか。住宅部門では奨励賞は・・・また、来年頑張ってもらいますか。学校は、さきほどのとおり、子どもたちに褒めて育てると言うことで。

【下村副委員長】 奨励賞ですが、学校部門奨励賞でない。

【久委員長】 はい。

【下村副委員長】 1等（最優秀賞）2等（優秀賞）3等賞の奨励賞だと違ってきます。

【久委員長】 はい、だいたいよろしいでしょうか。

最後、確認をさせていただきます。全体の最優秀賞は9番、全体の優秀賞は23番。

コミュニティ部門の景観賞が25番、まちづくり賞が2番。

学校部門は景観賞が3番、まちづくり賞が16番。学校部門だけに28番奨励賞を差上げます。

事業所部門は、景観賞24番、まちづくり賞32番。

住宅部門は、景観賞が6番、まちづくり賞が8番ということによろしく願います。

長時間になりましたが、少しまだご提案事項があれば。

【村田委員】 この委員のなかで、今度三田のオープンガーデンを見に行きます。ふるーらむでのサロンで前から言っているのですが、まちづくりとして非常に人集めが出来ている。ふるーらむでやっていることのもう一つ上を目指すなら参考になると思います。また、行きましたらご報告いたしますが、兵庫県は今力を入れています。三田だけでなく宝塚などいろいろなところでやっていますので。生駒でも花でイベントみたいなことは出来ないかと思っています。

【久委員長】 10月16日に三田のまちなみ交流会へのお誘いでした。

【村田委員】 これは、オープンガーデンは誰でも見に行けます。しかし、先着300名ですが、ホテルでNHKの「趣味の園芸」の須磨アナウンサーの基調講演があり、その他、いろいろ参考になることをされていると思います。また、ご報告します。

【久委員長】 ありがとうございます。

それでは、今後の手続きのことでもう一つ重要なことをお聞きしないといけないと思います。先ほど選んでいただいた賞の講評を書かないといけません。それはどうでしょうか。

【下村副委員長】 去年は事務局案を作っていたら、見せていただきました。

【久委員長】 書きたいとおっしゃる方が居られたら。先ほどの大阪まちなみ賞は委員で手分けして書いているのですが。いかがでしょうか。

【委員一同】

【事務局】 提案ですが、素案を事務局で考えさせていただいて、委員長、副委員長二人の三人で添削していただくというのはいかがでしょうか。

【委員一同】 賛成

【久委員長】 よろしいですか。そうさせていただきます。

それでは、全て手続きも終わりましたので、その他事務局からございますか。

【事務局】 お配りさせていただいた資料のなかで、ふるーらむのイベントで今回のコンテストの表彰式が10月25日でございます。イベントとしては10月24日、25日両日でございます。委員の皆様、お知り合いをお誘いの上お越しくださいますようお願いいたします。

【磯貝委員】 それについて提案ですが、去年表彰式に出たのですが、委員の方向人いらっしゃったか覚えておりませんが、ほとんど来られていませんでした。やはり、委員会として選んでいますので、出来るだけ時間をつくって参加していただければと思います。

【久委員長】 それは、事務局でなくこのメンバーに申し上げていただいたということで、よろしく願いします。今年はドキドキ、ハラハラになるということですね。最初から賞を申し上げないので。そこで、皆さんにも守秘義務が課せられますのでよろしく願いします。

賞に選ばれたのはお知らせいたしますが、くれぐれもどの賞かはおっしゃらないでいただきたいと思います。

次回の日程はまた、ということによろしいですか。

【事務局】 次回、14回目の会議ですが、11月下旬ごろで予定しております。決定次第連絡させていただきたいと思います。

【久委員長】 少し長引きましたが、これで13回目の緑の市民委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会